

フォークリフト作業に関する従業員への教育

ロイヤルホームセンター株式会社
運営部 主任 折田 晃

ホームセンターで発生するフォークリフト作業の課題

作業が発生する環境

営業中に作業を行う事が多い
お客様がいる環境で作業をする

フォークリフトと歩行者の
通路を区分できない

車両への積込・荷下ろしが多い

重厚長大な商品を取り扱う
荷の形状が安定しない

- ・作業中の安全確保を目的に、フォークリフトを誘導する従業員(※)を配置した
- ・マニュアルでルールを定め、再発防止をおこなった

※以下 作業指揮者とする

が、しかし

- ・作業指揮者は、フォークリフトの車両特性を知らない従業員が多い
- ・マニュアルによるルールの浸透に理解差がある→結果、事故に繋がっている

取組テーマ

**解釈差をなくすためのよりわかりやすい安全教育
フォークリフト事故『ゼロ災害』を目指す**



・事故から学ぶ対策

事故対策を全事業所に水平展開する

・わかりやすい資料づくり

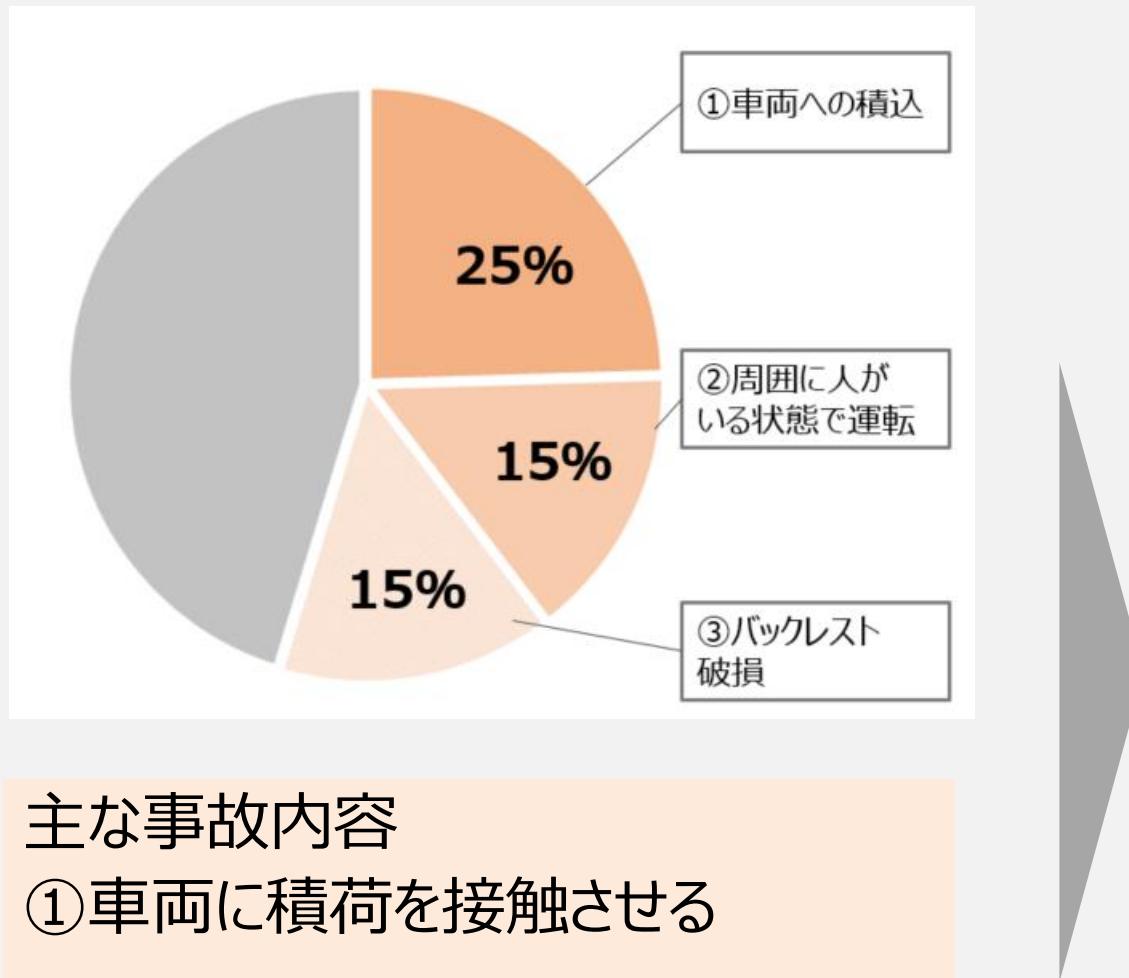
文字だけではイメージがしにくい⇒活字中心の教育コンテンツを見直す

・フォークリフト責任者による事業所内での教育

事業所で最もフォークリフト知識、経験のある従業員を責任者に任命する
事業所内で作業に関わる従業員に対して、FL責任者が実践教育をおこなう

事故から学ぶ対策

事故発生時の状況



主な事故内容

- ①車両に積荷を接触させる
- ②作業指揮者を轢いてしまう
- ③バックレストの接触に気が付かず
破損させてしまう

主な取組事例 全事業所に水平展開

①当て板で車両への接触を防止



②表示物で社内ルールを見る化



③バックレストの視認性を上げる



わかりやすい資料づくり（社内研修資料）

フォークリフト模型



作業指揮者モデル



従来の資料



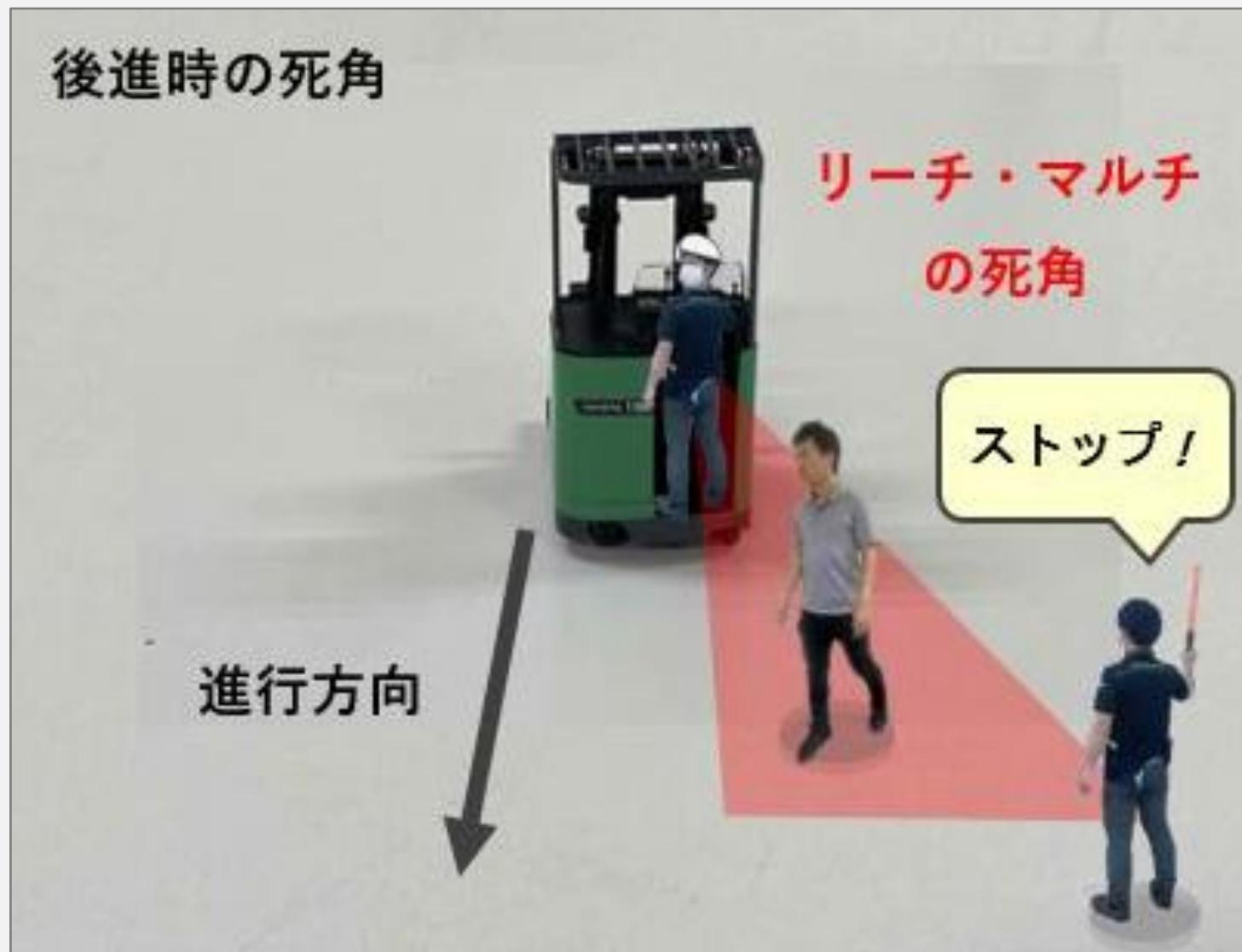
できるだけシンプルに



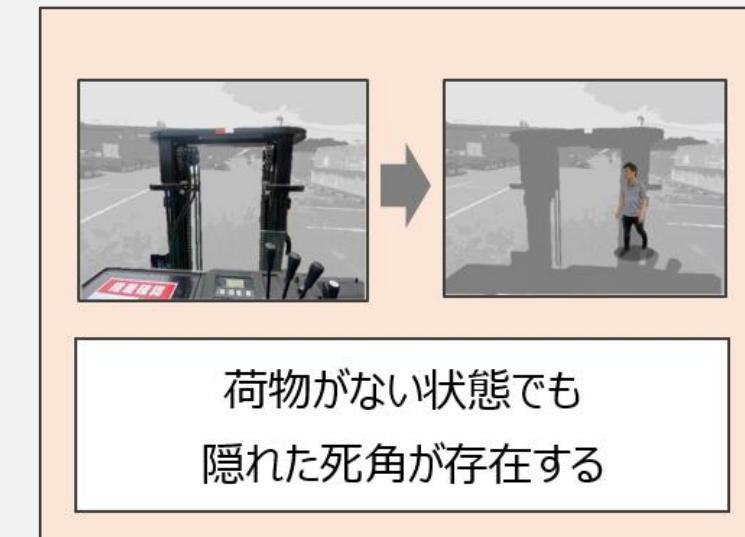
フォークリフトの死角・接近禁止エリアについて

俯瞰的な視点で車両と人の位置関係について理解しやすくする

■ 荷物を積んだ状態で後進する際の死角について



■ 運転者視点の死角



■ 作業中の接近禁止距離



作業指揮者（誘導者）の理解度向上

フォークリフト誘導作業で定められた合図や注意事項について解説

■誘導時の合図について



■運転者との声の掛け合い



■作業の中止指示

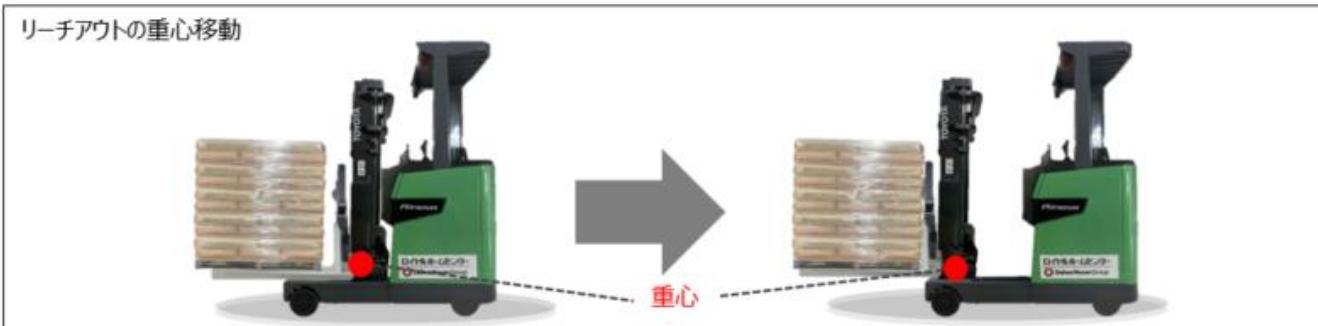


車両の特性がわかるようにする

過去に発生した事故事例を用いて、フォークリフト特有の車両特性の理解を深める

■ 重心移動について

FL車両の特性を理解しよう 重心移動



重心のバランスが悪い状態



■ 過去の事故事例



■ 正しい基本動作について

基本動作について



- ① フォークは常に本体に最も近い位置に引いて移動
- ② フォークは常に地面に近い位置に下げて運行
- ③ 許容荷重以内の荷を運搬

動画による教育コンテンツの配信

作業指揮者がいない状態で運転すると…

事故に対する当事者意識をもってもらう動画を作成



安全啓発キャラクター
さいとうくん

作業指揮者のフォークリフトとの適正な距離



指差呼称でヒューマンエラーを防ごう



フォークリフト責任者による事業所内の教育

■ 運転経験の浅い従業員に対する教育

お客様が立ち入らない場所で実技をおこない、
作業について理解を深める

■ 指差呼称

責任者がお手本となりポイントについて解説



フォークリフト安全週間の実施

安全週間導入による従業員の意識向上

